



発行所

岐阜農林高等学校  
同窓会事務局

TEL <058> 324-1145

http://www.ginou-douso.org/

教員生活最後の年となりました



岐阜県立岐阜農林高等学校  
校長 林 博康

本校で校長としてお世話になり3年目を迎え、今年が定年退職の年となりました。教諭時代も含めると通算20年間、教員生活の半分以上は岐阜農林高校での勤務となりました。

昭和61年、農業土木科の馬場春博先生のご退職になり、その後任として着任し、17年間で福井豊海先生、長沢陽一先生、安藤忠美先生、原隆男先生、林茂則先生、井上英樹先生と6人の校長先生方からご指導をいただきました。

その頃、自分が岐阜の校長として再び着任するとは思っていませんでしたが、こうやって校長室で仕事をしていると、歴代の校長先生方からご指導していただいたことが、今の私の学校経営を支えております。昭和61年からの5年間は福井先生、そして最後2年間

は岐阜大学へ研修に出させていただきましたので、実質の最後は林先生の時でした。これまた5年間お世話になりました。結局、実質15年間のうち福井先生と林先生のもとで10年間仕事をさせていただきました。着任当時は福井先生の前に立つと、思うこともしゃべれなかつたですが、その頃公務員の指導に力を入れ、毎年40名以上を公務員として就職させました。合格者については、後輩に励みになるようにと、へたな筆を使いB紙に大きく氏名を書き、校長室の前に張り出したことを覚えています。その後、本校では進路実績を校長室前に張り出す習慣ができたことと記憶しています。林先生は毎朝、週3日ずつ西と東の生徒玄関に立たれ、生徒のその日の様子を常に見てみえました。その表情で、「あの生

同窓生必読の  
親しい便り。  
農林の指針  
一人でも多く  
読みましよう。  
(希望者は事務局まで)

購読料 年3回発行(郵税共)  
年1,000円

印刷所  
岐阜文芸社

徒は今日元気がないとか、最近悩みを抱えているのではないかと、正確につかんでおられました。私も校長職になってからの飛騨高山、加茂農林、そして本校とできる限り朝の生徒の様子を見るように心がけております。これも林先生の教えの一つです。安藤先生が現役の学校長としてご逝去された時は、本当に心が痛みました。当時、まだ新しい体育館で学校祭を執り行ったときは今も鮮明に記憶に残っております。また、農場と林科棟を挟む川に設置した「希望の泉」は先生のたつての思いを叶えた事業であり、あの泉を見るたびに先生の学校に寄せる強い思いを感じます。

思い出をあげれば尽きませんが、今、私も最後の年を迎えると、自分本校のために何をしてきたのかと思ひながらも、少しでも前を見て、生徒が自信を持ち、力を付けるよう日々の仕事に励んでおります。

株式会社  
スギスイ住設

代表取締役  
杉山 卓雄  
(昭和54年農卒)

- 給排水空調設備工事
- 住宅水廻りリフォーム
- 住設ショールーム
- 雑貨 ガーデニング 喫茶

〒501-0531  
事務所・ショールーム  
揖斐郡大野町上磯67-1  
☎0585-34-2487



Central Rose Nursery

セントラル・ローズ・ナーサリー  
〒501-004 岐阜県本巣市七三 一の坪7724  
Phone (058) 324-7203 Fax (058) 324-6277  
大西 隆 (昭和45年農卒) 裕 (平成7年工卒)



ヒナ・資材・鶏卵加工販売  
株式会社  
後藤孵卵場

岐阜市西野町7丁目北町13  
TEL <058> 251-2231  
FAX <058> 253-0812

ゴトウグループ  
ゴトウテクニカル  
グローバルチック  
岐阜養鶏農協

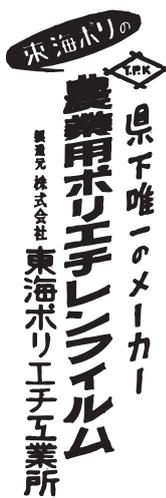


建設コンサルタント  
株式会社 ユニオン

代表取締役  
村橋 元  
(昭和37年工卒)

〒501-0106  
岐阜市西河渡2丁目57  
電話 <058> 253-3111

支店・営業所  
名古屋・恵那・高山・郡上・大垣  
中濃・各務原・羽島・下呂・掛川  
福井



東海水の  
農用ホリエテラシム  
東海ホリエテ工業所

岐阜県羽島郡岐南町野中  
☎<058> 246-1313  
名古屋営業所  
名古屋市中区前の川町四丁目  
☎<052> 521-9296

社長  
大野 實

総合建設業  
株式会社  
松野組

代表取締役社長 松野 守男

本社

〒50110223  
岐阜県瑞穂市徳積1330番地  
TEL(058)32713200(代)

岐阜営業所

〒50018082  
岐阜市矢島町1丁目42番地  
TEL(058)2661386

山県営業所

〒5012112  
山県市大字西深瀬字蔵前1335番地の1  
TEL(0581)2212420

祝 瑞宝小綬章

教育功労



井上英機氏  
(元本校校長)

祝 瑞宝双光章

国土交通行政事務功労



大場重明氏  
(昭和39年農業土木科卒)

本校職員の変動

退職者

- 村瀬 智 (数学)
- 木村 和夫 (保健体育)
- 今井 信夫 (事務)
- 清水 弘一 (農業)
- 柳 典子 (英語)
- 船越 進太郎 (理科)

〈転出者〉

- 渡邊 千洋 (教頭)
- 大垣養老高校 校長
- 渡辺 めぐみ (養護)
- 岐山高校
- 谷 基 (農業)
- 大垣養老高校 教頭
- 下堂前 亮 (農業)

加茂農林高校

- 山川 博枝 (農業)
- 加茂農林高校
- 矢井 一輝 (農業)
- 大垣養老高校 新規採用
- 小野 恵子 (農業)
- 恵那農業高校
- 平岡 優季 (農業)
- 大垣養老高校
- 細野 稔貴 (農業)
- 飛騨高山高校

〈転入者〉

- 守屋 康晴 (教頭)
- 大垣養老高校 教頭
- 岩佐 孝 (数学)
- 羽島高校
- 高橋 恭二 (保健体育)

大垣工業高校

- 堀 紀江 (英語)
- 羽島北高校
- 古閑 敬 (農業)
- 加茂農林高校
- 子安 弘樹 (農業)
- 加茂農林高校
- 藤木 俊之 (農業)
- 郡上高校
- 池戸 祐太 (農業)
- 新規採用
- 猪俣 佑介 (農業)
- 新規採用
- 水船 晶子 (養護)
- 学校安全課
- 松田 実穂子 (農業)
- 大垣養老高校
- 杉山 聡 (農業)
- 新規採用
- 原 康彰 (農業)
- 新規採用 (H27年度途中より)
- 香田 佳那 (農業)
- 新規採用
- 佐藤 祐介 (農業)
- 大垣養老高校
- 吉田 由貴 (農業)
- 新規採用 (H27年度途中より)
- 加藤 和宏 (事務部長)
- 中濃特別支援学校 事務部長
- 長瀬 加奈 (事務)
- 新規採用



ご転出職員の方へ

日本一の農業高校に勤務して  
前教頭 渡邊 千洋



私は「日本一の農業高校 岐阜農林高校」に2年間勤務させていただけ

ことができました。専門教育の実績、進路の実績、学校規模、農場生産額、部活動の実績等どれもこれも全国を代表する農業高校です。さらに、農業高校初のスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)指定校でもありました。地域との連携も充実しており、岐阜農林に対する期待が非常に高いことが印象的で、岐阜農林ブランドへの信頼は非常に強固でありました。地域から信頼され、地域に貢献する学校を目指した教育活動に取り組み中で卒業生の皆さんが各方面で要職に就かれ、活躍しておられるのだと考えます。在校生諸君も期待に応えるべく心地よい緊張感を持って日々の学校生活に励み、自分の可能性を信じて努力し、自己実現を図る学校生活に常に努力して参りました。

また、農業教育の特色を生かして  
(1) 将来のスペシャリストの育成、  
(2) 地域産業を担う人材の育成、  
(3) 人間性豊かな職業人の育成の3つの目標が掲げられ人材の育成を図っておりました。これは、農業の専門高校全てが掲げ

るべき目標であり、本館壁面の垂れ幕掲示を始め、常に啓蒙されておりました。

来校者も大変多く、文部科学副大臣、農林水産副大臣を始めとした国の要職の来校をはじめ、マスコミの取材も日常的にあり、教育事業や学習成果、雑誌の取材、新聞報道など非常に多くありました。

私は、出勤するとすぐに新聞のチェックをしておりましたが、定期購読しております全紙に目を通し、岐阜農林高校・岐阜農林高校生、そして卒業生の皆様の活躍が掲載されている記事を探し、校内掲示するのが日課となっていました。この作業は私にとって、非常に楽しいものでした。平成27年度の記事掲載数は、およそ200件ほどもありましたが、おそろくこれ以上の学校はないと思います。

また、教頭の職務上、学校の広報をさせていただく機会が数多くありましたが、中学校PTAによる学校見学、中学校での高校説明会、一日入学、高校見学などを合わせると約500名ほどの皆さんに岐阜農林高校の魅力を力一杯お話しさせていただきました。HPへのアクセス数も一年間に約12万アクセスを数えました。

岐阜農林高校に勤務いたしました2年間は、非常に中身の濃い年月でした。岐阜農林高等学校、岐阜農林高等学校同窓会の益々のご発展を祈念いたし、お礼のご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

恵まれた2年間

矢井 一輝



岐阜農林高校には、平成26年度から27年度までの2年間勤務させ

ていただきました。2年前、赴任先が岐阜農林高校に決まったとき、教員生活のスタートを母校で切ることができるととても嬉しく思いました。同時に、教員という初めての仕事、園芸という初めて教える分野がとても心配で、やっていけるのかと不安を抱えたまま4月1日を迎えたことを今でも覚えていいます。

当然、最初はわけも分からず取り組む日々でした。壁にぶつかり、頭を悩ませながらふと農場職員室の時計を見ると夜の11時。自分は何をやっているんだろう、と思うこともありました。けれど、地面から食べ物が生え、作り手によって別人のように姿を変える不思議な生き物の一生を生徒と一緒に見ていくうちに、この仕事はおもしろいと思うようになりました。

仕事がおもしろい、という大切な土壌を作ることができたのは、不甲斐ない私をいつも支え、見守ってくださった先生方と生徒の力があつたからです。本当に感謝しています。

が支えてくれていきます。この2年間を糧に、これからも向上心をもって頑張っていきたいと思えます。最後に、岐阜農林高校の益々の発展と先生方のご健勝をお祈りし、お礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございます。

岐阜農林高校で見たこと

平岡 優季



私は実習助手として、園芸科学科に所属し2年間働かせていただきました。

岐阜農林高校での2年間、私は学校の中でたくさん人の姿を見てきました。

初任が母校からとなりましたが、職員としての学校は昔の懐かしさを感じられず、知らない学校で働いているようでした。多くの先生方がたくさんの方を教える毎日です。そんな中で私を元気づけてくれたのは、活動を懸命に取り組んでいる生徒の姿でした。厳しい環境での実習や夜遅くまでの部活動を見て、自分もまだ頑張れると前を向いて、作業に取り組んだことは何度もありました。

そして、生徒が活動しやすいように環境作りを試行錯誤される先生方の姿を見てきました。生徒のやりやすい実習環境にするため、使う道具を選ぶこと、農薬散布な

どのひと手間をくわえること、生徒のことを配慮した上での栽培技術を身につけることが大切だと分かりました。岐阜農林高校で実習助手として目指したい目標を見つけることができたのは、私にとつて大きな成果でした。最後に岐阜農林高校同窓会の益々のご発展を願いお礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございます。

活躍する同窓生

トマト農家として活躍

大熊 昭哲さん

(平成3年 園芸科卒業)

2009年全校児童300人、水を張った田んぼに入る。私達が企画・開催したPTA活動「親子どろんこ祭り」は、田んぼの中のドッジボールや棒引きとみんなの笑顔で始まりました。人が土で育った植物を食べて生き、死んだら土にかえっていく。人は土と一体、だから地球そのもの。土のぬくもりをみんなどとも感じよう。これが私の未来へのバトンです。私はトマト農家です。幼少の頃から土耕栽培のハウストマト農家である両親を手伝っていました。大変な作業が多く、正直なところなにか楽しいのかさっぱりわかりませんでした。そこである日、父に尋ねると「種をまくときが、いちばん楽しい」と一言。つまり、一つの種がどのように育つか、どんな実をつけるのか、それを想

像するのがとても楽しいと。この一言が私の就農の動機に深く関わっています。1991年に母校園芸科を卒業し、県農業大学校を経て、新たに水耕のトマトハウス20aでスタート。3年後には45aと拡大し、今では土耕45a、水耕45aの規模になりました。経営の特徴はできるだけ苗を購入せず、自身の手で種から苗作りをすること。苗を購入する農家が大半を占める中、トラックのコンテナを安く購入し、2008年には接木後の苗を養成する施設を自作しました。父からもらった一言がリーのパトンになって、収量と品質の両方をめざして走るトマト農家に。糖度6以上のトマト、10a当たり収穫量25tのトマト栽培。市場の出荷を中心にしなが、JAの農産物直売所、近隣の道の駅にもトマトをだし、中玉の「華小町」をオリジナルブランド「ポツボちゃん」と銘打って販売。これが好評を博し多くの方がリピーターとなって、直売所だけでなく、直接私の農園に買い求めにきてくれました。そんな農家に私はたどり着きました。

そんな私の人生に転機がやってきました。自分の子供が成長するに当たって「パトン」について考えたのです。なにか地域の役に立ちたいという強い思い。農家が渡せる「パトン」はなにか。そこで2006年、地元の幼稚園と小学校の園児・児童を招くトマト狩りを始め、120人程度の子供達に紙芝居をやりました。トマトがハウスの中でつるや葉をどうやって伸ばし実を着けるのか、



トマトを前に子供の顔がほころぶ

実際に見てもらい食べてもらう。この「パトン」が将来一人でも多くの農業の担い手に届けと今に続いています。また「同じ地域で農業をしているのに交流がないのも寂しいじゃないか」とJAぎふ青年部「楽農会」を発足させました。今では13人が名を連ね、私が初代会長を務めました。そして指導農業者として農業大学校や母校岐阜農林高校の若者達のインターンシップも毎年行っています。新しい道を切り開きパトンは渡され広がっていきます。



そして種まきの話を子供たちに



園児の前で「トマト」になって



トマトの収穫に喜び子供たち

いろんな人との出会いが、今の自分を成長させます。それがこれから未来を背負っていく人の手助けにつながる。そしていつか、地域の人たちが自然に集まれる、憩いのトマトハウスを作ること。それが私の夢です。

揖斐川支部活動報告 (その23)

平成28年度揖斐川支部 通常総会開催

平成28年3月5日(土) 17時30分から揖斐川町谷汲門前「立花屋旅館」において、通常総会を開催しました。今回は新規会員5名の方のご参加で42名(会員90名)と、昨年度設立された池田支部から来賓3名をお迎えし総勢45名の総会となりました。母校校歌斉唱、会員物故者の黙祷後、河村住夫支部長のあいさつ、池田支部長の遠藤和雄様にごあいさつをいただき、1)平成27年度事業報告及び収支決算の承認について 2)平成28年度事業計画及び収支予算(案)について審議され、出席者全員の賛同で原案とおり承認されました。尚、二年間の任期満了による役員

改選は、支部長以下役員全員が留任されました。

又、野菜、ハイキング、ゴルフ、旅行の4つの同好会の活発な活動が紹介されました。総会終了後、懇親会が盛会に開催され、話に花を咲かせ、和やかな内に約2時間の宴会を終え、盆前の夏季懇親会まで元気でと宴を閉じました。

支部は、会員100名を目指して勧誘を進めています。揖斐川町に在住の卒業生の皆様のご入会をお待ちしています。先輩、後輩が一堂に会し、楽しく交流しましょう。(記事 支部幹事長 林 孝之 土40)



平成28年度岐阜県高等学校同窓会揖斐川支部通常総会 於:立花屋 平成28年3月5日

部活動報告

(H28年2月~4月)

女子バスケットボール部 東海大会初出場

相撲部

〔全国選抜高校相撲大会

(全国新人大会)〕

団体の部 予選

- 本校3 0 酒田光陵(山形)
- 本校3 0 隠岐水産(島根)
- 本校1-2 更級農業(長野)
- 予選通過
- 決勝
- 一回戦 本校1 2 三本木農業
- ベスト32

個人の部

- 2D 丸山紘 2F 丸山恭
- 2N 吉池 1N 浅野
- 1N 山田
- 出場 予選敗退

男子バスケットボール部

- 〔東海新人大会〕
- 一回戦 本校77 47津
- 二回戦 本校45 113中部大第一
- ベスト8

女子バスケットボール部

- 〔東海新人大会〕
- 一回戦 本校39 80星城

馬術部

〔岐阜スプリングホースショー〕

- 第7競技 ジムカーナー一般
- 1位 3A 野網風子
- 2位 2H 竹中大貴
- 3位 2D 飯沼仁人
- 第7競技 ジムカーナLJ
- 1位 2N 田代悠里
- 2位 2A 鈴木美南
- 3位 2A 矢川桃果
- 第8競技 標準障害飛越60LJ
- 3位 2E 吉田汐音
- 第9競技 標準障害飛越80LJ
- 2位 3A 石樽大樹
- 第10競技 標準障害飛越100LJ

1位 3N 福田統威

- 第17競技 標準障害飛越40一般
- 1位 2H 小島和佳奈
- 第28競技 標準障害飛越70LJ
- 1位 3H 稲見友里
- 第29競技 標準障害飛越90LJ
- 3位 3A 白川玲奈

柔道部

〔県高校新人大会〕

- 女子個人 無差別級
- 3位 1E 津田真佑
- 〔全日本柔道体重別選手権大会〕
- 女子個人
- 2E 津田真佑出場
- 一回戦敗退

硬式野球部

〔春季地区大会〕

- トーナメント
- 二回戦 本校1 2 本巣松陽
- 敗者復活戦
- 一回戦 本校7 3 富田
- 二回戦 本校5 4 岐阜東
- 三回戦 本校3 8 加納

男子バレーボール部

〔地区新人戦〕

- 本校2 0 鷺谷
- 本校0 2 岐山

女子バレーボール部

〔地区新人戦〕

- 本校0 2 本巣松陽
- 本校0 2 加納

演劇部

〔春季合同公演〕

優秀賞

書道部

〔本巣市美術展〕

- 奨励賞 2A 小川裕里子
- 佳作 2B 湯本準也
- 入選 9名

〔全日本高校書道コンクール〕

- 全日本高校書道教育研究会賞
- 2B 湯本準也

優秀賞 2H 飛田和泉

優良賞 2E 中村真由

佳作 2A 小川裕里子

入選 2B 川瀬文也

入選 1F 河出恵里花

入選 1A 岡田那美

入選 1N 久保田知明

入選 1N 森春寧

〔岐阜県美術展〕

入選 2A 小川裕里子

入選 2H 飛田和泉

入選 2E 中村真由

入選 2A 小川裕里子

入選 1A 岡田那美

入選 1N 久保田知明

入選 1N 森春寧

入選 1A 宮崎桃花

会員の動向

訃報

春日井達造(昭和14年農業科卒) 平成27年10月25日 ご逝去

神山賢市(昭和20年農業科卒) 平成28年3月30日 ご逝去

勇 憲一(昭和41年林業科卒) 平成28年3月12日 ご逝去

大熊敏晴(昭和46年定農科卒) 平成28年4月30日 ご逝去

本校の実習製品紹介

岐農の逸品

「楽旨米(らくうまい)」誕生!

環境科学科が、岐阜県農政課と協力して、魚道設置水田の環境調査に取り組み、流通科学科はその魚道水田でイネ(コシヒカリ)の減農薬栽培に取り組むことになりました。土づくりから工夫し、通常の慣行栽培に負けない生育、収量が確保できました。せっかく減農薬栽培で魚道水田から収穫された魚道米が採れたので、何か付加価値をつけて販売したいと考え、生徒たちが話し合い、初めは商品



(セット内容: 1合のお米 x 2 + ミネラル水 460ml x 1本)

名、キャッチフレーズ、パッケージデザインを考えていました。しかし、もうすでに他校では、コンビニと学校とのコラボ商品など、数多く出回っているため、ネーミングや販売方法だけではなく、自分たちが作る場所から加工・販売まで係わり、ただ仕入れたものに付加価値をつけるだけではない1つ上の商品を作りたいと考えました。試行錯誤している中、最近の少子化、小家族、高齢者の問題に貢献できるもの、というコンセプトに行き着き、具体的には「少量無洗米」というアイデアが生まれました。商品化に向けて、さらに「おいしい」、「安心・安全」もコンセプトに加わり、県内産にこだわったミネラル水とのセット販売を考え、この「楽旨米(らくうまい)」が誕生しました。1袋500円でのうじよう君にて絶賛販売中。

総会の案内  
日時 10月2日(日) 14時  
会場 ホテルグランヴェール岐山

多くの同窓生の参加をお待ちしています。詳細は次号に掲載します。

平成27年度 卒業生学科別進路状況

進路先/学科	流通科学		園芸科学		動物科学		森林科学		環境科学		食品科学		生物工学		合計		総計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
就職	生産技術	1		1	6	2	1	2		1		1	2	2	2	10	11	21
	製造・加工		3		3	1		4	1		1	1	4			6	12	18
	事務				1									1		0	2	2
	販売・営業	2	1		2		1									2	4	6
	サービス・飲食		2						1			1	2			1	5	6
	保安															0	0	0
	農林業				2		1	2								2	3	5
	輸送・運輸	1						1		1		1				4	0	4
	建設・測量							1			10				1	12	0	12
	医療・看護・福祉		1				1						1			0	3	3
公務・公団・農協		1		2	2		1		4	1		1	2		9	5	14	
その他							1								1	0	1	
計	4	8	1	16	5	4	12	2	16	2	4	10	5	3	47	45	92	
進学	国公立四大					3	2	1		5		1		7	2	17	4	21
	私立四大	5	1	4		2	7	14		10	2	2	8	16	5	53	23	76
	国公立短大						1							1	0	2	2	2
	私立短大		8	1	2		3	2	2				5		3	20	23	23
	農業関係学校	2		2	3		1	2		1					7	4	11	11
	職業訓練校							1		1					2	0	2	2
	専修・専門学校	4	7	1	9	3	6	2	1	2		2	7		14	30	44	44
	進学準備				1	1			1					1	2	2	2	4
計	11	16	8	15	9	20	22	4	19	2	5	20	24	8	98	85	183	
卒業生	15	24	9	31	14	24	34	6	35	4	9	30	29	11	145	130	275	275
	39	40		38		40		39		39		40		275		275		

母校の野鳥紹介 26

ダイサギ

ダイサギというシラサギと思われ... シラサギというものは白く、白いサギ全般を言っています。コサギ、チュウサギ、ダイサギ、そして繁殖羽根が抜け落ちたアマサギを指しています。ダイサギはシラサギの中でも一番大きく90cmもあり首が長く見えます。本校の池とピオトープに、非繁殖期の秋から冬になると現れて餌をとっています。池ではタモロコなどの小魚を、ピオトープではアメリカザリガニを捕らえて冬を越しています。これらの餌はカワセミ、アオサギも食べるため競争するのですが、距離を置いて争うことなく共存しています。



シラサギ達も春から夏にかけては、愛知県などにあるコロニー(集団営巣地)で子育てをするため一時的にいなくなりますが、秋になるとまた戻ってくるのです。野鳥の体長は嘴から尾羽までの長さをいいます。

母校の銘木紹介 26

イスノキ

農場に行く西の橋の手前を動物舎の方に南北の水路を渡った左手(旧林業科製材室前)に樹高6m位で樹齢100年近いイスノキがひっそりと生育しています。50年前私が入学した頃とほとんど大きさが変わっていない感じがします。



イスノキは高木の常緑広葉樹で暖地の山地に生育するが、自生はごく限られている。このあたりでは、伊勢神宮林で確認されている葉や枝に大小の虫えいが多くできる。大きいものは、こぶし大ほどになる。

用途は現在は庭木に使用されるぐらいだが、材は床柱、床板、そろばん、箸など広く使用されている。

編集余記

今年度は、新しく4名の先生をお迎えしてスタートしました。母校並びに同窓会の更なる発展を目指し、教職員・生徒一丸となつて頑張っていけます。

同窓生皆様方のご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

紹介

今年度の校内幹事です。宜しくお願いします。



山田祐治 東 宏二郎 酒井 治 安藤耕作 小野卓也

長屋 貴 田口健太 細川裕也 杉山 聡 吉田由貴 池田明子 香田佳那

坪根浩一 守屋教頭 高橋教頭 長屋幸広

小川正樹 林 校長 福井強志 広瀬大和

土木舗装一式請負

郡上 郡上舗道株式会社

代表取締役 高橋 勇 (昭和30年農卒) 本社 岐阜県郡上市大和町剣37の2 電話<0575>88-3163 3330 郵便番号 501-4612 北方営業所 岐阜県本巣市三橋712-1 電話<058>324-1818 324-7733 美濃加茂営業所 岐阜県美濃加茂市太田町字境松 電話<0574>25-8486

金幣社 大井神社

宮司 園部 隆雄(昭和27年土卒)

〒501-0431 岐阜県本巣郡北方町北方216 電話(058)32310630

中衛工業株式会社

代表取締役 関谷 俊臣 ◎岐阜支店 岐阜市六条南3-6-9 tel.058-274-8881 fax.058-274-8860 ◎本社 名古屋市南区鶴里町3-11 tel.052-811-8111 fax.052-811-8311 http://www.chuei.com

丸栄コンクリート工業株式会社

明日をかたちづくる 本社 〒501-1629 岐阜県羽島市福寿町間島一五〇八 TEL(058)3931070

ENDO 株式会社 遠藤造林

森林総合プランナー 森林整備・木材生産・造園土木 代表取締役 遠藤 一美 技術参与 遠藤 二己(昭四四林卒) 専務取締役 遠藤 雅樹(平三林卒) 本社 〒502-0812 岐阜市八代3-26-10 TEL(058)-231-5112 FAX(058)-231-4429 支社 洞戸・養老・山県

クリーンな未来を。

今日は、昨日の未来。そして、今日の一番近い未来は、明日。新しい世紀が訪れても、昨日、今日、明日、その一日一日の積み重ねが、未来を創って行くことに変わりありません。環境を美化させるコンクリートは“地球の創造素材”である、と私たちは自負しています。自然と人と社会。それぞれの調和を大切にしながら、シンプルに生まる。21世紀は、本質に還る時代です。



プレストレストコンクリート設計製作施工 コンクリート二次製品製造販売 昭和コンクリート工業株式会社 〒500-8703岐阜市香蘭1丁目1番地 TEL.058-255-3333 FAX.058-255-3330 代表取締役 村瀬大一郎